



アングリカン・コミュニオンにおける神学教育（TEAC）

ACC-18への報告

ACC-17 以来、TEAC は、アングリカン・コミュニオン全体、特に出版された資料の利用に限りがある地域における神学教育の奨励と整備を続けている。教会を基盤とする神学教育の支援は、神学校を基盤とする教育の支援と並び、その要である。パンデミックの間にオンラインやハイブリッド学習への移行が広まったことで、TEAC はその対象範囲と接触機会を拡大することができた。2022 年には喜ばしいことに対面による集まりも再開された。

「ビーイング・アングリカン (*Being Anglican*)」の発足

「ビーイング・アングリカン：私たちの歴史から学ぶ」は、アングリカンの精神性、教会の生活、そして宗教改革から現在までの布教を内容とする、学習グループや個人のための短いコースで、2021 年に 4 つの言語で開始された。この資料のコピーは Lambeth Conference で配布され、広く歓迎された。革新的なビデオリソース「Being Anglican: Learning from Global Perspectives（アングリカンであること：地球的視野から学ぶ）」は 2022 年 2 月にユーチューブで公開された。

www.anglicancommunion.org/theology/theological-education/being-anglican.aspx

南アジア、ラテンアメリカ、アフリカに関する TEAC 協議

TEAC グローバルウェビナーは、インド、パキスタンおよびスリランカ向けに開催され 80 人の参加者を得、ラテンアメリカとカリブ海諸国向けにはグアテマラで開催され、50 人の参加者が移住危機について話し合うために集まった（TEC グローバ

ル・パートナーシップとの共同)。10人の神学教育者がグアテマラでの集まりに出席し、声明を作成した。そしてこの声明は、8月に開催された Lambeth Conference のセミナーで議論され、また別の Lambeth セミナーではアフリカ全土の神学教育について検討された。TEAC はまた、11月にボツワナで開催された、アフリカにおける神学教育の将来に関するサミットで USPG を支援した。

www.anglicancommunion.org/theology/theological-education/theological-education-webinars.aspx

Lambeth Conference への支援

TEAC のスタッフは、Lambeth Conference に先立つ主教対話を支援し、グループのファシリテーションと、すべてのグループからの毎月のフィードバックの整理と要約を行った。TEAC のスタッフはまた、コンファレンスでの全体会議やセミナーをサポートし、呼びかけの草案の一部を作成するとともに、リソースセンターの ACO スタンドの運営を支援した。

その他の支援

TEAC のスタッフは、マルコム・ジープスの著書「*Why Science and Faith Belong Together* (なぜ科学と信仰はなじむのか)」をポルトガル語とスペイン語（フランス語は続行中）に翻訳するなど、アングリカン・コミュニオン科学委員会の設立を支援した。www.anglicancommunion.org/media/492393/Why-science-and-faith-are-inseparable-PT-2022.pdf

www.anglicancommunion.org/media/492402/Why-science-and-faith-are-inseparable-SP-2022.pdf

また、新たなジェンダー公正部門の資料である「*God's Justice* (神の正義)」の制作を支援し、連合の「*Re-Imagining Our World Together* (私たちの世界を共に再想像する)」の翻訳や、エキュメニカルの対話から作られた各種テキストの翻訳も支援した。

エコ神学 (Ecotheology) ビデオリソース

この革新的なリソースは国際作業部会によって継続されている。ビデオトークと関連資料はここ ACC18 で発表する予定である。将来的にはポルトガル語、スペイン語およびフランス語で利用できるようになる。

TEAC リソース・ブレティン

これも年に 3 回、4 か国語で発行され、650 人のメーリングリストに配布された。

www.anglicancommunion.org/theology/theological-education.aspx

新たなアングリカン・コミュニオン神学教育委員会 (CTEAC)

ACC 常任委員会は 2022 年 2 月にこの新しい委員会の設立を承認した。議長のハワード・グレゴリー大主教の下、管区の委員やワーキンググループを通じて、数年後に TEAC の仕事を引き継ぎ、拡張していく。神学校には、準会員としてその活動に財政的な貢献（可能な限り）をするようお願いする予定である。35 の管区が委員を任命している。10 月に導入会議が開催され、ここ ACC18 で委員会が正式に発足する。

Revd Canon Dr スティーブン・スペンサーおよび Dr パウロ・ウエ
ティ
神学教育アドバイザー